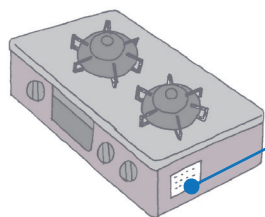


都市ガスを安全にご使用いただくためのお願い

このお知らせは、ガス事業法に基づきお届けしております。

1 ガス機器を買う前に、ガスの種類を確認してください。

当社がお届けしているガスは、**都市ガス「13A」**です。
ガスの種類にあったガス機器を購入し、使用してください。



AB—120—(a) 1	型式
都市ガス用13A	適応するガスの種類
〇〇〇kW (〇〇〇kcal/h)	ガス消費量
201704—0001	製造年月・製造番号
〇〇〇株式会社	メーカー名



ガスの種類とあっていないと、正常な燃焼をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

ポイント

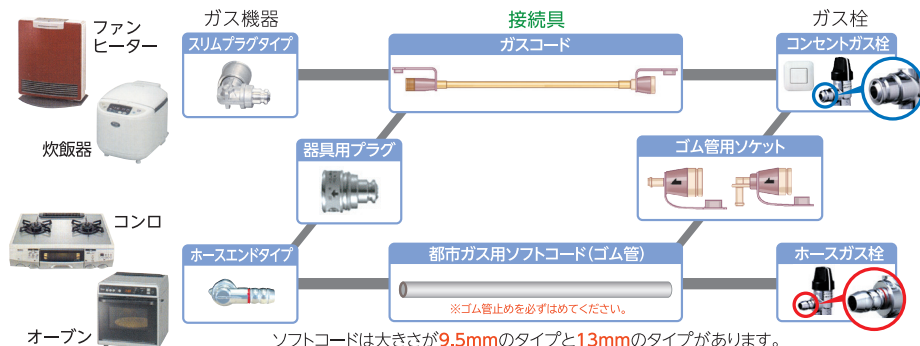
- ガス機器には、適応するガスの種類を示したラベルが貼られています。
- 新しくガス機器をお買い求めになるときのほか、**今までご使用になられていなかったガス機器をお使いになるときも**、ガスの種類とあっていないか、必ず確認してください。

2 ガス機器を接続するときは、“形”と“大きさ”を確認してください。

ガス機器・ガス栓の接続口のタイプはそれぞれ2種類。接続器具をガス機器・ガス栓へつなぐときは形状やサイズを確認し、それぞれにあったものを使用してください。



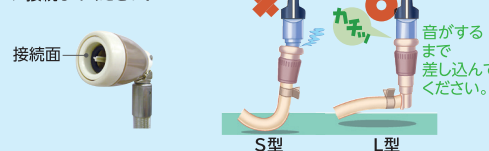
形状やサイズがあていないものを接続した場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。



ガス栓への取り付け方

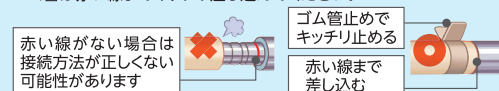
〈コンセントガス栓〉

接続面にごみなどの異物がなく、ソケットに無理な力がかからないよう適切な種類を選んでください。接続してください。



〈ホースガス栓〉

ゴム管は赤い線でキッチリ差し込んでください。



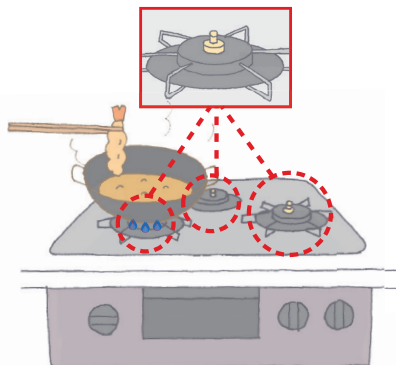
ガス機器とガス栓をつなぐ場合は、接続具を必ずガス機器側からつないでください。

より安全性能の高い機器へのお取り替えをおすすめします。

センサーコンロ

08年4月から製造されているガスコンロ(卓上コンロを除く)は、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、鍋底が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油過熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。

Si 全ロセンサー搭載 センサーコンロ

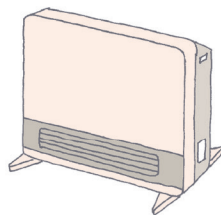


「センサー」で天ぷら油の過熱などを防止

不完全燃焼防止装置付 ※1

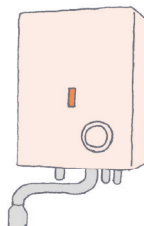
ファンヒーター

フィルターの目詰まりなどで新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。



小型湯沸器

ほこりによる熱交換器の目詰まりなどがあつたとき、炎の異常を検知し、自動的にガスを止めます。



不完全燃焼防止装置付

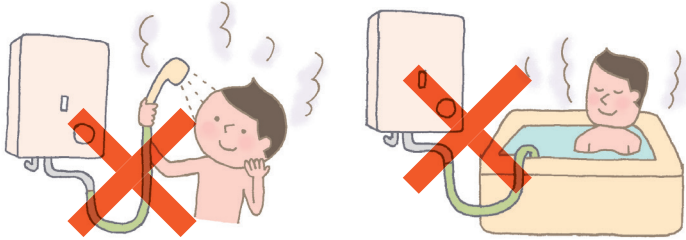
使用方法

- 〈点火・出湯〉(消火・出湯停止)
- プッシュボタンをいっぱい押してください。バーナーに着火しお湯が出ます。(水)の位置では水が出ます。
- 再度プッシュボタンを押してください。お湯(水)が止まり消火します。

※1. 不完全燃焼防止装置付の機器でも、お使いになるときは必ず換気してください。

3 小型湯沸器をお持ちの場合は、ご注意ください。

小型湯沸器は、ふろ・洗濯機へのお湯はり、シャワーや洗髪に使わないでください。



小型湯沸器を長時間連続使用すると、換気が足りず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

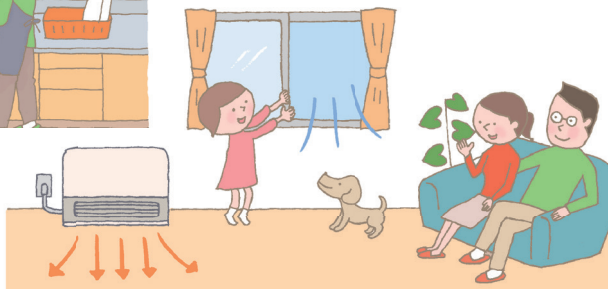
小型湯沸器は燃焼に必要な空気を多く使います。長時間連続使用すると、換気を行っても燃焼に必要な空気が不足するおそれがありますので、絶対にお止めください。

4 ガスを使うときは、“換気”してください。

換気扇を回すか、窓を開けましょう。



暖房中は1時間に1～2回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。



換気しない場合、燃焼に必要な空気（酸素）が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は安全装置が付いていても必ず換気をしましょう。
- コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら、再点火を繰り返さずガス機器購入店やメーカーへ点検を依頼してください。
- 換気扇が汚れていると換気能力が低下します。定期的に点検・清掃してください。

5 調理中はガス機器から、目を離さないでください。

別の用事がある場合は、いったん火を止めましょう。



揚げものをしているときやグリルを使用しているときにその場を離れると、過熱に気づかず火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- 安全装置が付いていても、自分の目で確認することが大切です。
- 揚げもの調理は、天ぷら油過熱防止装置（センサー）の付いている側で行ってください。
- コンロの火が着衣に着火しないようご注意ください。
- メーカー純正品以外の部品（ガスコンロ用省エネリングなど）の使用は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こす原因となる場合がありますので、注意しましょう。



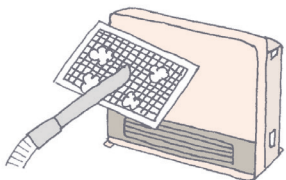
6 ガス機器は定期的に、お手入れをしてください。



小型湯沸器

小型湯沸器の上部（防熱板の下）に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください（有償）。

暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどでお掃除しましょう。



ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

排気筒（煙突）内に鳥が巣を作っていないか？

地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、排気筒（煙突）のはずれや、壊れがないかどうか確認してください。

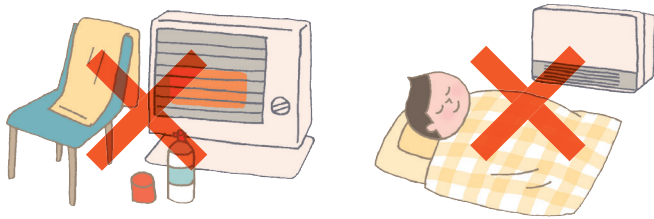
給気口がふさがっていませんか？

排気筒（煙突）のはずれ、穴あき、詰まりはありませんか？



7 暖房機器は十分な距離をとって、使用してください。

衣類などの燃えやすいものやスプレー缶を近くに置かないでください。
温風を長時間直接体にあてないでください。



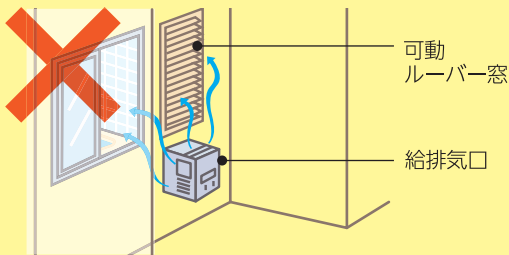
燃えやすいものやスプレー缶が高温になり、発火・爆発するおそれがあります。また、温風を長時間直接体にあてると低温やけどになるおそれがあります。

ポイント

- 特に小さなお子さまなど、自分の意思で動けない方がいるご家庭では、長時間温風があたる場所で寝かせないように注意してください。

【キッチン、バスルーム、お部屋共通】ガス機器・給排気口の付近に窓がある場合

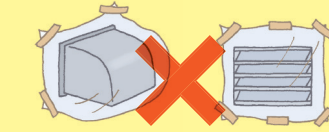
ガス機器使用中は、窓を閉めましょう。



工事を行う場合は、機器の使用にご注意ください。

ガス機器・給排気設備をビニールシートなどで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。

屋外に設置されたガス機器や屋内ガス機器の排気口を増改築により室内化したり波板などで囲わないでください。



※増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備を覆われることがあります。



ポイント

- 燃焼した排気を直接屋外へ排出するガス機器や、屋内機器の排気口付近にある建物開口部(窓、換気口など)から排気が室内に流入し、不快なおい気や臭い、気分が悪くなるおそれがあります。
- 設置状況によっては、ガス機器等の移設が必要な場合があります。



排気が室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。



排気が屋外に排出されず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。



ガス機器が正常に着火しない場合、機器内部にたまった未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

8 空だき注意。沸かす前に水栓の確認をしてから、使用してください。

追い焚きや湯沸しの際は、水量が十分あることを確認しましょう。



点火しにくくなった場合は無理に点火せず、点検を依頼しましょう。

ポイント

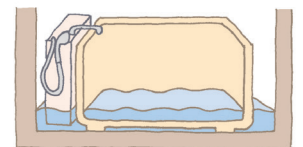
- 点火がうまく行われないと、点火操作により放出される少量のガスが、一時的に機器内部にたまりま。
- そのまま繰り返し操作を行うと未燃ガスが徐々にたまるため、点火された際に異常着火し、衝撃で機器が変形するおそれがあります。
- ふろがまが水につかると点火しにくくなる場合もありますので、おふろの排水口は、こまめにお掃除してください。



水量が足りないまま、湯沸しや追い焚きを行うと、過熱によりふろがまを傷めるだけでなく、火災の原因となるおそれがあります。



未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。



業務用のガス機器を、ご使用のお客様へ。



換気を忘れずに

ガス機器をお使いになるときは、必ず換気扇を回すか、換気装置を動かして、換気してください。うっかり換気を忘れると、一酸化炭素による中毒や死亡事故につながる場合があります。



伝熱火災にご用心

壁との離隔距離は十分お取ってください。壁の表面がステンレスやタイル張りでも、下地が木材の場合は、伝熱火災を起こすことがあります。



給気口は絶対ふさがない

給気口は絶対ふさがないでください。



密閉式または屋外設置式のガス給湯器をおすすめします

屋外の空気を取り入れてガスを燃焼するので、安心してご使用いただけます。

ガス・CO警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときは、すぐに裏面に記載のガス導管事業者へご連絡ください。



特殊な薬品を使用する場所では定期的な排気筒及びガス給湯器の点検をおすすめします

室内の空気を直接燃焼に使う方式のガス機器では、ヘアスプレー・パーマ液・クリーニング溶剤などの薬品から発生した腐食性ガスがガス機器内に取り込まれ、ガス機器の本体や排気筒の腐食(サビ・穴あき)が起こりやすくなります。



機器のメンテナンスを忘れずに

業務用厨房機器は、厨房内の油や粉などが、給気口などに付着し、目詰まりすると、空気の吸い込み不足となり、不完全燃焼を起こすことがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。



ダクト火災にご用心

ふだんから、フード内の清掃を心がけましょう。ダクト内や換気扇の油滴やホコリは、ダクト火災の原因になります。



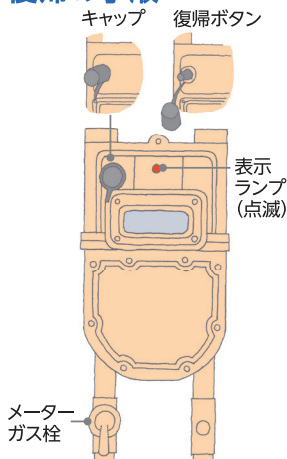
ガス・CO警報器の設置をおすすめします。



危険を感じたときは、お客様をすぐに安全な場所へ誘導してください。また、あわてずに、あせらずに、身の安全を確保したうえで迅速に使用中のガス機器を止め、ガス栓を閉めてください。

9 ガスが出ないときは、ガスメーターを確認してください。

復帰の手順



- 1 器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外の機器も忘れずに。
使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。
- 2 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外してください。
- 3 復帰ボタンを奥までしっかり押し、表示ランプが点灯したらすぐに手を離す。
復帰ボタンが元に戻り、表示ランプが再点滅します。その後、キャップを元に戻しておきます。
- 4 約3分間お待ちください。
この間ガスもれがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認頂き、表示ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます。

※ 3分経過後も、ガスが止まったままで表示ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガスもれが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。
※ 正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合はガス導管事業者へ連絡してください。

ご家庭の全てのガス機器が使えない場合は、ガスメーターの表示ランプを確認してください。
点滅している場合は、**周囲がガス臭くないことを確認**してから、復帰の手順を行ってください。
万一ガス臭い場合は、復帰の手順を行わず、すぐにガス導管事業者へ連絡してください。

ガスメーターには、次のような場合に安全装置がはたらいて自動的にガスを止める機能があります。安全装置がはたらいた場合、表示ランプ(赤)が点滅します。

- 大きな地震が発生した場合
- 多量にガスがもれた場合
- ガスの圧力が所定の値より低くなった場合
- 機器を長時間使用した場合*

※ お湯の沸かしすぎや鍋がこげるのを防止するものではありません。

10 地震のときは、身の安全を最優先にしてください。

まずは身の安全を確保しましょう

まずは机の下に身を隠すなどをしてください。震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスをしゃ断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。



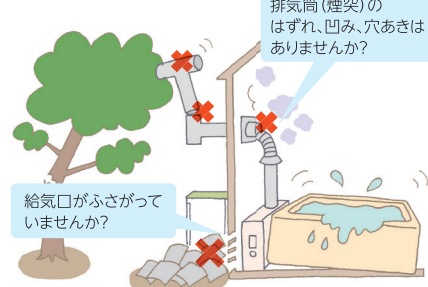
揺れがおさまったら ガスの火を消してください

ガス機器を使用していた場合、ガス機器のスイッチを止めて、ガス栓を閉めてください。



地震のあと、ガスをふたたび使うとき

煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか(はずれ・凹み・穴あきがないか)目で確認してください。



11 ガス臭い場合は、すぐに連絡してください。

● 火気は絶対使用しないでください。



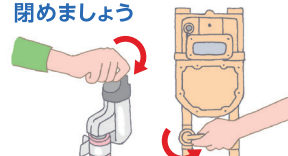
● 着火源となる換気扇、電灯などのスイッチに絶対手を触れないでください。



▶ 窓や戸を大きく開けましょう



▶ ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう



ガス漏れ通報はガス導管事業者専用電話へ

受付時間：24時間(ガス漏れ通報専用・無休)

お客さまの地域のガス導管事業者は**東京ガス**です。

☎ 0570-002299 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご使用になれない場合 IP電話・海外からのご利用など
03-6735-8899

佐倉市・成田市・八千代市・千葉市・四街道市・
富里市・酒々井町・芝山町・多古町にお住まいの
お客さま(※旧千葉ガス供給エリア)

佐倉支社

☎ 043-483-2280

つくば市・つくばみらい市にお住まいのお客さま
(※旧筑波学園ガス供給エリア)

つくば支社

☎ 029-848-5151

※ ガス漏れ通報専用電話は、ガス臭いなどの緊急の用件のみうけたまわっております。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ガス器具の故障・修理・交換等の緊急時以外の連絡先は、下記に記載の最寄りの営業所へお電話ください。

お問い合わせ先



河原実業株式会社

本社 ☎ 03-3849-4412	浦和 ☎ 048-854-2224	深谷 ☎ 048-571-9873	宇都宮 ☎ 0285-51-0081
八潮 ☎ 048-996-0597	川口 ☎ 048-280-2012	千葉 ☎ 043-444-6247	小田原 ☎ 0465-41-2722
白岡 ☎ 0480-93-1682	厚木 ☎ 046-246-3116	行田 ☎ 048-553-4901	流山 ☎ 04-7159-6172
つくば ☎ 029-836-3416	八王子 ☎ 042-696-5913	入間 ☎ 04-2935-0366	船橋 ☎ 047-488-0109